

わが国独自の技術による世界水準の電信装置

登録番号	第 00033 号
名称 (型式等)	【 無線電信送受信機 】 (1) FS 電信受信機 ZB2 型 (2) SSB 短波送信機 SK-101 型
所在地	栃木県小山市 KDDI 株式会社 小山テクニカルセンター 国際通信史料館
所有者 (管理者)	KDDI 株式会社
製作者(社)	国際電気通信株式会社
製作年	1957 年 (FS 電信受信機)、1960 年 (SSB 短波送信機)
選定理由	それまでの公衆電信は海底ケーブルで行われていたが、国産技術による本機の開発で初めて短波無線による公衆電信が可能となった。受信機にはフェージングによる信号の脱落を防ぐための合成方式を、送信機には動作安定化や周波数安定化の工夫を取り入れている。標準化を目的とした標準架構成、高通信品質化技術等も採用している。電信以降の、電話、FAX、写真等の送受信、ひいては衛星通信にいたる華々しい無線通信の分野を開く端緒となった装置である。
登録基準	1 □

公開・非公開	非公開
写 真	
	
写真左 FS 電信受信機	写真右 SSB 短波送信機
その他参考となるべき事項	